

(仮) 八幡市民複合施設 ワークショップ 実施報告書

Workshop Report



全体テーマ：八幡市民複合施設を考えるワークショップ

第1回 4月17日(日)

テーマ：どんな複合施設を望みますか？

開催場所：市川市役所 1階

参加人数： 14名

第2回 5月15日(日)

テーマ：複合施設の使い方を考えよう！

開催場所：市川市役所 1階

参加人数： 28名

第3回 6月12日(日)

テーマ：複合施設周辺全体の環境を良くするには？

複合施設の利用方法を考えよう

開催場所：市川市役所 1階

参加人数： 44名

ワークショップ参加者構成(順不同)

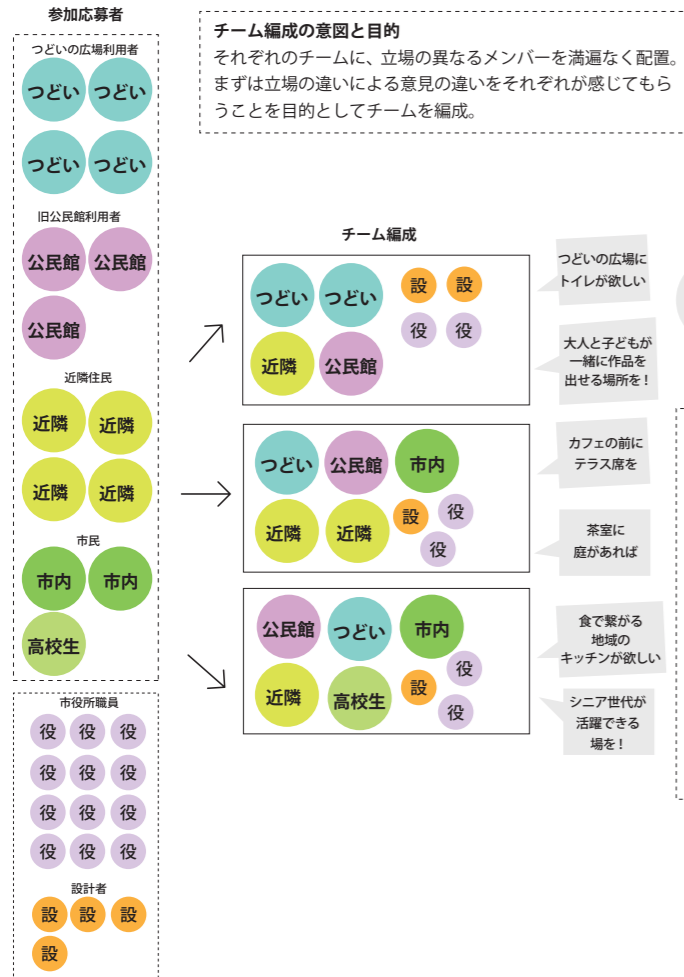
市内在住者(近隣住民含む)、公民館等利用者、子育てエリア利用者、
市内大学・高等学校の学生及び関係者(和洋女子大学、国府台女子学院高等部、昭和学院高等学校、千葉県立市川昂高等学校)

ワークショップの経緯と成果、今後の課題について

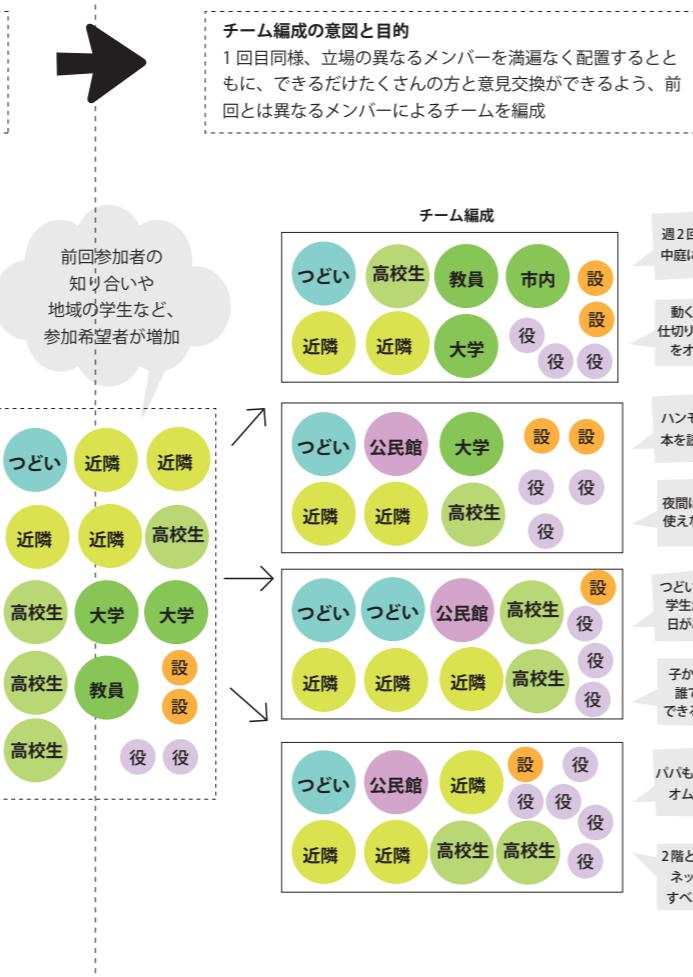
ワークショップ全体テーマ：(仮) 八幡市民複合施設を考える

ワークショップ開催～基本設計完了

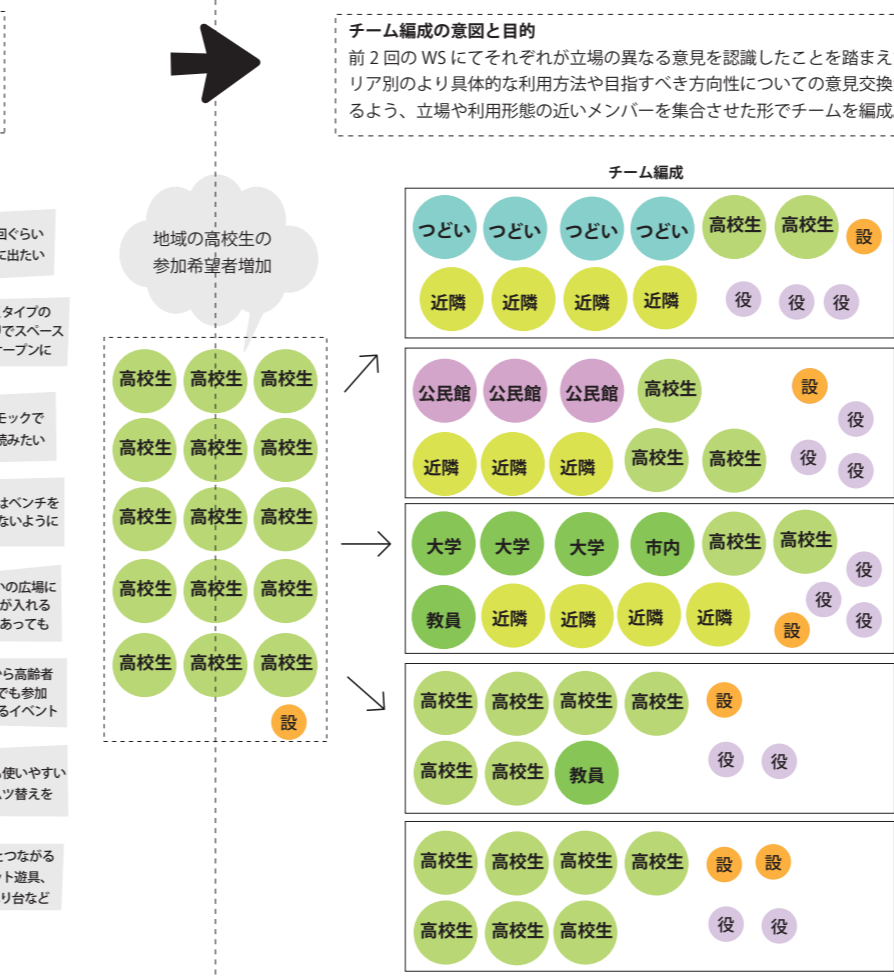
1回目 テーマ：どんな複合施設を望みますか？



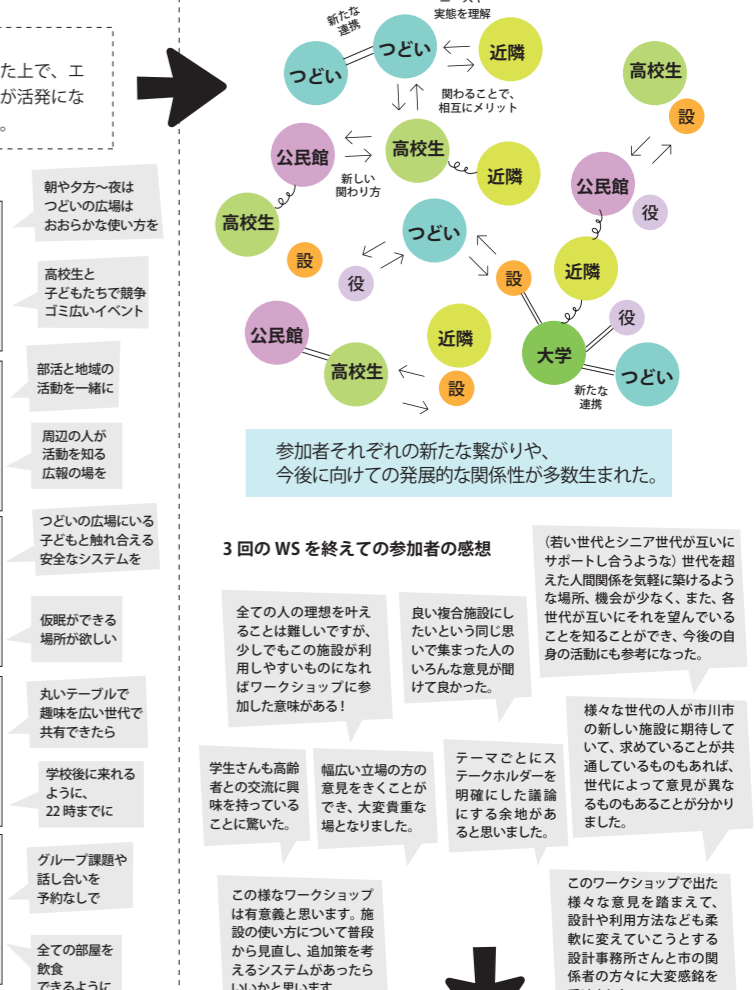
2回目 テーマ：複合施設の使い方を考えよう



3回目 テーマ：複合施設周辺全体の環境を良くするには？ 複合施設の利用方法を考えよう



終了後



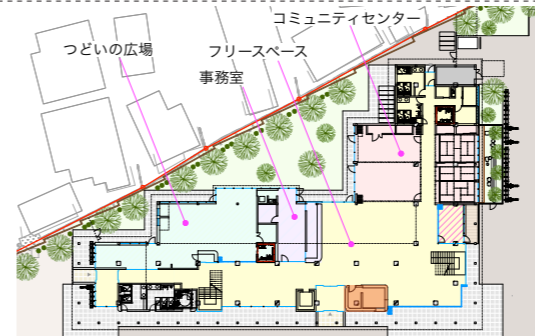
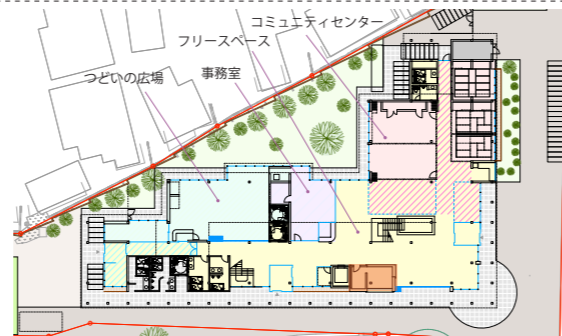
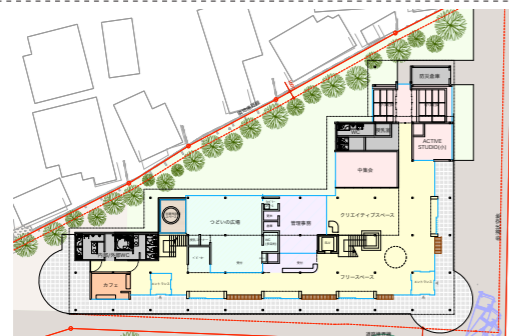
実施内容

- 設計者の紹介とともに、本施設の参考となる類似の設計例を紹介した。
- 設計者よりプロポーザル案をベースに、施設の計画の現状と設計者の考えや意図を伝えた。
- それぞれの立場から、複合施設に期待することについて意見交換を行い、多数の意見が出された。

- 設計者より1回目のWSの内容などを踏まえ、施設計画の検討・進展の状況について平面図を中心に説明した。
- 施設の使い方についてのイメージを膨らませるため、海外や国内の先進的な事例や特徴ある使い方の例を紹介した。
- 内部空間まで作り込まれた1/50サイズの模型を制作し展示した。そこに、参加者がそれぞれに自身の顔写真を貼り付けた人型模型を設置した。
- エリア別に施設の使い方についての意見交換を行い、様々な観点からの複数の意見が出された。

- WSスタート前に、任意参加での敷地見学会を実施。設計者による案内と説明を行った。
- 設計者よりこれまでのWSの内容などを踏まえ、施設計画の検討・進展の状況について平面図を中心に説明した。
- 周辺環境についての話し合いに向け、敷地付近の写真や行われているイベントなどについて説明を行った。
- 施設の利用方法を考えるにあたって、施設の企画や運営に積極的に市民が関わっている事例の紹介を行った。
- それぞれのチームのメンバーの特徴に合わせた、異なるテーマでの話し合いが行われた。

平面図変遷



成果

複合施設の建築の基本的な計画や考え方について参加者それぞれの理解が深まった。

施設への要望が多数出されただけでなく、参加者同士が、様々な立場の意見があることを知る機会となった。

大きなサイズの模型やそこに人型を置くことにより、施設の構成や空間の大きさや様子について理解が深まった。

近隣住民への配慮など、異なる立場を考慮しながら、施設を自由に使うための提案が多数出された。

皆が集う場所としての相応しい使い方について、ニーズを設計者がより把握しやすくなり、プラン検討に活かせるようになった。

敷地見学や周辺環境について意見交換をしたことにより、隣地との距離から配慮の必要性を理解。また、神社の境内という特別な立地を大切にしたいという思いが共有された。

高校生の参加者が多数加わり、若い世代を含めた多様な世代が来なくなる場所となるにはどうしたら良いか、活発な意見が出された。

3回のWSを通じ、様々な立場の違いや、複合化のメリットへの理解が深まり、新しい公共施設を皆で考えることへのきっかけとなった。



(仮)八幡市民複合施設 ワークショップ実施報告書 制作：香山建築研究所